

- 問1 豊臣秀吉が実施した刀狩において、農民から武器を没収する際に名目として掲げられた内容はどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 没収した武器をすべて朝廷に献上し、天皇を中心とした国家の武威を示すことで、諸外国からの侵略を抑止する。
 2. 没収した武器を溶かして新しい貨幣を铸造し、全国で統一した通貨として流通させることで経済を活性化させる。
 3. 没収した武器を鉄材として再利用し、京都に建立する大仏の釘やかすがいなどの資材に充てることで、来世の安泰を祈願する。
 4. 没収した武器を海外との貿易の輸出品として活用し、得られた利益を凶作に備えた備蓄米の購入資金に充てる。
- 問2 平安時代末期から鎌倉時代にかけて、日本国内では自ら貨幣を铸造する代わりに、中国から「宋銭」を大量に輸入して流通させていました。このように輸入銭が広く使われるようになった背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 幕府が国内産の貨幣の使用を禁止、外国の貨幣を使うよう法律で強制したため。
 2. 日宋貿易の拡大に伴い、国内の商業活動が盛んになって貨幣の需要が高まったため。
 3. 日本国内での銅の産出が完全に止まり、貨幣の原料が一切不足したため。
 4. 朝廷が律令制度を強化し、国家の権威を示すためにあえて外貨を採用したため。
- 問3 豊臣秀吉が農民から刀、脇差、弓、槍、鉄砲などの武器を没収した政策の目的と、その結果として進められた社会的な区分について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 検地帳に農民の名前を登録することで、土地の所有権と耕作の権利を保障し、税率を一定にした。
 2. 鉄砲の製造を特定の職人に制限し、幕府が軍事力を独占することで、戦国時代の終焉を宣言した。
 3. 自給自足の生活を推奨し、農村に商人が入り込むのを制限することで、幕藩体制の基礎を築いた。
 4. 農民による一揆を防止して耕作に専念させ、武士と農民の身分を区別する兵農分離を進めた。
- 問4 織田信長が築いた安土城が、その後の日本の城郭建築や政治に与えた影響について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 山城から平山城への転換点となり、豪華な天守を設けることで領主の圧倒的な権威を民衆や諸大名に誇示する役割を果たした。
 2. 豊臣秀吉が全国統一を成し遂げた後の政治的拠点として、瀬戸内海の海上交通を完全に支配するために築かれた。
 3. 鎌倉時代から続く伝統的な防衛拠点の形式を継承し、敵の侵入を防ぐことのみを目的とした簡素な造りで設計された。
 4. 徳川家康が江戸幕府を開いた際、関東地方の守りを固めるために、防衛機能を最優先した質実剛健な様式で築かれた。
- 問5 14世紀から16世紀のヨーロッパを分析した資料において、イスラム文化や古典古代の文化への関心が高まった背景にある歴史的な出来事と、その後の変化について述べた記述として正しいものを選んでください。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 宗教改革の影響でカトリック教会の権威が失墜したことにより、ヨーロッパの知識人がイスラム圏へ移住した。
 2. 十字軍の遠征などを通じて高度なイスラム文化や古典古代の知識が流入し、人間中心の新しい文化が生まれた。
 3. モンゴル帝国の拡大によって東方の火薬や羅針盤が伝わり、騎士階級が没落して教会が文化を独占した。
 4. ベストの流行によって人口が減少したため、キリスト教の信仰が強まり、古代ギリシャの科学は否定された。
- 問6 16世紀の世界において、スペインが支配した領域の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。当時の世界情勢や他国との関係を考慮して答えなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. アフリカ南端のケープタウンを中継地とし、インド洋から東南アジアに至る海上の交易ルートを独占した。
 2. 南北アメリカ大陸のうちポルトガル領となったブラジルを除く地域と、アジアのフィリピンを支配した。
 3. キリスト教の布教を一切行わず、もっぱら南アメリカ大陸でのサトウキビ栽培を目的として領土を拡大した。
 4. 北アメリカ大陸の東海岸を拠点として、イギリスやフランスの勢力と争いながら広大な植民地を維持した。
- 問7 フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来航したことをきっかけに、キリスト教の布教とともに活発化した南蛮貿易について、当時の大名たちがこの貿易を積極的に推進した理由として最も適切なものはどれですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. キリスト教を国教として定め、仏教勢力の不満を抑えるため。
 2. 勘合(符)を用いて倭寇と区別し、明との公的な貿易を独占するため。
 3. 鉄砲や火薬といった強力な武器を手して、軍事的な優位を築くため。
 4. 平清盛が整備した大輪泊泊を利用して、中国の宋との交流を深めるため。
- 問8 戦国時代から安土桃山時代にかけて、織田信長や豊臣秀吉といった有力な武将たちが、千利休の提唱した「わび茶」を政治の場に取り入れた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. わび茶が公家の独占的な教養であったため、公家社会とのパイプを築く唯一の手段だったから。
 2. 静寂な茶室という空間が、武将同士の密接な交渉や家臣との信頼関係を築く重要な場となったから。
 3. 質素な茶室を奨励することで、戦費を調達するために領民へ倅約を促すモデルケースとしたから。
 4. 茶道を通じた精神修行を義務付けることで、武士が戦場へ出ることを拒まないように教育したから。
- 問9 織田信長が自らの城下町である安土などで実施した政策で、同業者の組合である「座」の特権を廃止し、市場での税を免除して自由な商売を認めたものを何といいますか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 楽市・楽座
 2. 株仲間
 3. 刀狩
 4. 太閤検地
- 問10 織田信長が安土城の城下町などを発展させるために実施した、経済政策について述べた次の文の空欄にあてはまる語句を選びなさい。「信長は、商工業をより活発にするため、中世以来の独占的な営業権を持っていた商工業者の団体である『座』を廃止し、市場での税を免除した。この一連の政策を()という。」 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 刀狩
 2. 太閤検地
 3. 公事方御定書
 4. 楽市・楽座
- 問11 豊臣秀吉が全国規模で実施した「太閤検地」の内容について、それまでの土地制度と比較した説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 土地を新しく開墾した者に対して、その土地を永久に私有することを認めることで、農業の振興を図った。
 2. 全国の土地の所有権を一度天皇に返上させ、改めて大名にその土地の管理を任せる仕組みを整えた。
 3. 実際に田畑を耕作している農民を検地帳に登録して土地の所有権を認め、同時に年貢を納める義務を負わせた。
 4. 土地の面積ではなく、その土地で働く人の数に応じて税を課すことで、労働力を確保しようとした。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 没収した武器を鉄材として再利用し、京都に建立する大仏の釘やかすがいなどの資材に充てることで、来世の安泰を祈願する。	秀吉は刀狩令の中で、没収した武器は京都の方広寺に建立する大仏の材料にすると説明しました。これは、農民の反発を和らげると同時に、武器を差し出すことが功德（良い行い）になり、来世で救われるといった宗教的な理由付けを行うことで、円滑に政策を進める狙いがありました。実際には、農民の武装を解除し、一揆の基盤を奪うことが最大の目的でした。
問2	答え 2 日宋貿易の拡大に伴い、国内の商業活動が盛んになって貨幣の需要が高まったため。	平安時代中期以降、日本では貨幣を鑄造する技術や制度が衰退していましたが、平氏による日宋貿易の推進などにより、経済活動が活発化しました。急増する貨幣需要に対し、日本側は金や木材などを輸出し、代わりに信頼性の高い宋銭を大量に輸入することで、年貢の銭納化などが進むきっかけとなりました。
問3	答え 4 農民による一揆を防止して耕作に専念させ、武士と農民の身分を区別する兵農分離を進めた。	豊臣秀吉は、農民から武器を取り上げる「刀狩」を行うことで、武力による抵抗（一揆）を物理的に不可能にしました。これにより農民を農業生産に集中させ、年貢を確実に徴収する体制を整えました。同時に、帯刀が許される武士と、耕作を担う農民という身分の違いが明確になり、後世に続く「兵農分離」の基盤が作られました。
問4	答え 1 山城から平山城への転換点となり、豪華な天守を設けることで領主の圧倒的な権威を民衆や諸大名に誇示する役割を果たした。	安土城は、それまでの防御に特化した中世の山城とは異なり、高い石垣と壮麗な天守を持つ「見せるための城」としての性格を強く持っていました。これは、信長が自身の強大な権力を誇示し、天下に新しい秩序が到来したことを視覚的に知らしめる目的がありました。この様式は、その後の豊臣秀吉や徳川家康らによって築かれる近世城郭のモデルとなりました。
問5	答え 2 十字軍の遠征などを通じて高度なイスラム文化や古典古代の知識が流入し、人間中心の新しい文化が生まれた。	十字軍の遠征や東方貿易の活発化により、ビザンツ帝国やイスラム世界に保存されていた古代ギリシャ・ローマの文献や科学知識がヨーロッパへ逆輸入されました。これが刺激となり、神の教えに従うことを最優先した中世の価値観から脱却するルネサンスの動きが加速しました。
問6	答え 2 南北アメリカ大陸のうちポルトガル領となったブラジルを除く地域と、アジアのフィリピンを支配した。	スペインは、コロンブスが到達したカリブ海を足がかりに、北アメリカ南部から南アメリカ大陸の大部分を支配下におきました。ただし、南アメリカ大陸の東部であるブラジルはポルトガルの領土であったため、スペインの支配には含まれません。また、東南アジアではフィリピンを拠点としており、これらは当時のスペインが「太陽の沈まぬ国」と呼ばれるほどの繁栄を築く基盤となりました。
問7	答え 3 鉄砲や火薬といった強力な武器を入手して、軍事的な優位を築くため。	当時の九州をはじめとする戦国大名たちは、領国を強化するために最新の技術や兵器を求めていました。ポルトガル人などの南蛮商人と取引を行うためには、宣教師によるキリスト教の布教を許可することが条件となる場合が多く、大名たちは軍事的な利益（鉄砲や火薬の入手）を目的に貿易を奨励しました。中には自らキリスト教徒になるキリシタン大名も現れました。なお、勘合貿易は室町時代の、大輪田泊の整備は平安時代末期のできごとです。
問8	答え 2 静寂な茶室という空間が、武将同士の密接な交渉や家臣との信頼関係を築く重要な場となったから。	当時の有力な武将たちは、茶の湯を単なる趣味ではなく「御茶湯御政（おちゃのゆござい）」として政治に利用しました。狭く密閉された茶室は機密保持に適しており、そこで行われる茶会は、恩賞として名品を授けたり、重要な政治的決断を下したりする、武家社会の秩序維持のための特別な儀礼として機能しました。
問9	答え 1 楽市・楽座	織田信長は、商工業を盛んにして自らの経済力を強めるため、古い特権を持つ「座」の支配を打破しました。この政策により、新しく参入する商人にも自由な営業を認め、城下町に多くの人や物資が集まる仕組みを整えました。
問10	答え 4 楽市・楽座	織田信長は、領地の経済力を高め、軍事資金や物資を安定的に確保するために商工業の振興を図りました。それまで特定の商人にのみ独占的な営業を認めていた「座」の特権を廃止することで、新しくやってきた商人でも自由に商売ができる環境を整え、城下町に人や物を集めようとした。
問11	答え 3 実際に田畑を耕作している農民を検地帳に登録して土地の所有権を認め、同時に年貢を納める義務を負わせた。	豊臣秀吉は全国の田畑の面積や質を調査する検地を行い、それまで複雑に入り組んでいた土地の権利関係を整理しました。これにより、実際に耕作を行っている農民の名前を検地帳に登録し、その土地の所有権を認める代わりに、収穫量に応じた年貢の納入をその農民に義務付けました。これは「一地一作人の原則」と呼ばれ、兵農分離を進める基盤となりました。